

派遣ロータリークラブ：2670 地区 阿南
受入ロータリークラブ：1060 地区 レディッチ キングフィッシャー
学習機関：バーミンガム大学

平成 25 年 2 月 23 日
国際親善奨学生 杉浦 藤一郎

去る 2 月 4 日に、ソリフル・セントアルフェージ ロータリークラブを訪問し、スピーチの機会をいただきました。当ミーティングでは、ワールドアンダースタンディングイブニングと名付けられたイベントが行われました。バーミンガム市近郊のソリフルという地区には 4 つのロータリークラブがあり、それらが合同で国際的なゲストを招き、相互理解を深めるのが目的とのことでした。今回はそちらに、私を含めたロータリー 1060 地区で学習中の 3 名の奨学生が招待されました。


イベントを主催していただいたソリフル・セントアルフェージ ロータリークラブには、約 35 名のメンバーがいらっしゃいます。さらに、他のクラブからも多数参加されていたため、参加者が 100 名を超える大きなイベントとなりました。私たちはロータリアンの皆さまと同じテーブルにつき歓談しながら食事をいただいた後、3 名の奨学生がそれぞれスピーチを行いました。このイベントは定期的に行われているとのこと、会場には今までにお迎えした世界中からの参加者によるバナーが多く並んでいました。日本からも多くの奨学生が毎年渡英しているため、多くのバナーが飾られていました。

特に印象に残ったのは、メンバーの一人から漢字の名前をつけてほしいと依頼されたことです。奥様が日本の刺繍技術を学んでいて、完成した作品に漢字にて刻名をしたいため、漢字の名前がほしいとのことでした。この課題を持ち帰って十分に検討した結果、その方のお名前 (Mr. Hillyer) にはもともと「純粹さ」という意味があることと、字形が複雑すぎないことを考慮して、「純」という字をご提供いたしました。これから練習に入るとのことですが、気に入っていただければと思います。

また、イベントの様子がホームページに掲載されていたので、リンク先とともに掲載された様子を添付いたします。

<http://www.rotary-ribi.org/clubs/page.php?PgID=347058&ClubID=387>





Accessibility & Cookies | [Forgotten password?](#) [Login Problems?](#) [Register](#)


 **Rotary Club of Solihull St. Alphege**

Home | Meetings & Events | Photo Galleries | Contact Us | Members Login | site search:

Main Pages | [Home](#) | [Rotary Foundation](#) | **World Understanding Evening**

Club Service
Rotary Foundation
Community Service
Boxing
International
Youth Activity
Work Team
Membership
Press Releases
Community Projects
Club Council

Share on...     



Mon Feb 4th 2013
On the 4th February we hosted three Rotary Foundation Scholars at the Holiday Inn, Solihull at our World Understanding Evening

On the 4th February we hosted three Rotary Foundation Scholars at the Holiday Inn, Solihull at our World Understanding Evening. They each gave very interesting talks about various topics, including their Country, their background, their studies and their future plans. The Scholars were Anais Salsou from France, studying at Warwick University, Kaoru Uehara from Japan, studying at Warwick University and Toichiro Sugiura, also from Japan, studying at Birmingham University. The photograph shows the Scholars standing behind L to R - Robert Johnson, the Rotary Foundation Committee Chairman, John Hale, the President of Solihull St Alphege Rotary Club and Carolyn McLaughlin, Rotary Assistant Governor, Area 4.

By using this website template, clubs agree to make an annual payment to The Rotary Foundation for its use. More information about the scheme is available [here](#) | Template facilities designed by Rtn Chris Sweeney, Rotary Club of Conwy |

訳文：私たちは2月4日にホリディン（ホテルの名前）にて行われたワールドアンダースタンディングイブニングにて、3名のロータリー奨学生をお迎えしました。母国やこれまでの経験、学習内容や将来への展望など、様々なトピックについてそれぞれに興味深い話をさせていただきました。

奨学生は、ウォリック大学のアナイス・サルソン（フランス）、同じくウォリック大学の上原薫（日本）、バーミンガム大学の杉浦藤一郎（日本）です。

写真の後ろに立っているのが奨学生で、前方は左からロバート・ジョンソン氏（ロータリー基金委員会チェアマン）、ジョン・ヘイル（ソリフル・セントアルフェージ ロータリークラブ プレジデント）、キャロライン・マクローリン（ロータリーアシスタントガバナー）です。

また、私が通うバーミンガム大学で非常に興味深い出来事があったので、ご紹介させていただきます。下記の写真は、バーミンガム大学の図書館内を撮影したものです。



かなりの数の学生が勉強している様子がわかると思います。大学の図書館は十分に広いのですが、それでも勉強する席を探すのには大変苦労します。オンラインで席を予約するシステムがあるので予約すれば大丈夫ですが、予約せずに行くと空席を見つけることができないことがほとんどです。

しかもこの写真を撮影したのは、日曜日の午後6時です。さすがに日曜日のこの時間であれば空席を見つけることはできますが、それでも相当数の学生が勉強に励んでいます。学校からのサポートも充実していて、図書館を含めた学習施設は毎日午前1時まで、試験前などの忙しい時期には24時間オープンしています。女子生徒でも安心して滞在できるように、監視カメラを設置するとともに定期的に警備員が巡回してくれています。

こういう状況を見ると、日本の大学と比較せずにはいられません。私が卒業した徳島大学を調べてみますと、図書館は平日22時、週末は17時まで開いていて、長期休暇中は日曜日閉館とのことでした。学生の使用状況を考えてみますと、これほど多くの学生が集中して勉強していたような記憶はありません。これは私の偏見かもしれませんが、日本では多くの学生がアルバイトや学外での活動に精を出しているように思います。私達留学生は、週に20時間までアルバイトをすることができるのですが、実際にアルバイトをしている学生はほとんどおらず、誰もが勉学に励んでいます。もちろん私も、平日は学校と家との往復、週末はほとんど外出せずに予習復習や課題に取り組んでいます。

学生の本分は勉強である、ということを、誰かに言われるまでもなく、文化として根付いているように感じました。勉強するときにはしっかりと勉強に励みますが、もちろん勉強だけでなく、遊ぶときには思い切り遊ぶ。そのようなメリハリがはっきりしていると感じています。そのような環境の中で、優秀なクラスメートと共に学習できていることは、私にとって間違いなく財産になると思います。今後とも勉学はもちろんのこと、奨学生としてロータリーの活動に参加することで、留学生活がより有意義なものになるように精進したいと思います。

以上